

桜友会 広報誌 まごころ

第二十三号

発行人
社会福祉法人 桜友会
「法人本部」
〒036-8374
弘前市大字土堂字長瀬385-1
TEL 0172-39-2222
FAX 0172-39-2223
URL <http://o-yukai.jp>



理事長
町田 藤一郎

お陰様で、当法人はふじ苑開設から三十周年という節目を迎えることが出来ました。この間、私達は地域に必要とされる施設運営を第一に、弘前市とその周辺地域の皆様と共に歩んで参りました。ご利用者様、ご家族様、地域住民の皆様、そして多くの関係者の方々のご支援に、心より感謝申し上げます。

三十年という歳月の中で、介護を取り巻く環境は大きく変化してきました。高齢化の進行、地域包括ケアの推進、在宅復帰支援の強化等、施設に求められる役割も多様化しています。その中であって、私達も

また変化を恐れず、折々の環境に適応していく所存でございます。

昨今は全国的な人材不足に対応する為、働き方改革の推進や生産性の向上が求められています。当法人でもICT機器の導入による職場環境の整備や、職種別の専門性向上および働きやすさの追求を通じて、働き手が安心して長く働ける施設づくり、地域の皆様に信頼され、安心してご利用頂ける施設づくりに努めております。

初心を忘れることなく、役職員一丸となって未来へと歩みを進めて参ります。今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



介護老人保健施設 ふじ苑



施設長(管理医師)

千葉 博信

今年は全国的に酷暑が続き、九州を除き水不足となり、水稲や夏野菜、そして果物の作柄がとても心配な一夏となりました。

令和2年に発生し、世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も5類分類となつてから2年が経過し、未だ感染自体は散見されるものの、重症化するケースは激減しているようです。

ふじ苑の入所者様も、ご家族様との面会に関する制限が幾分緩和され、面会を楽しまれる様子を見て、私達職員一同も安心感を覚えています。

私がふじ苑にお世話になって6年目となりますが、いつも思うことは職員の方々の入所者様に対する献身的なサービス提供の姿勢です。時々テレビや新聞で介護施設の職員による不祥事が伝えられる事がありますが、ふじ苑に関して言えば、当然ながら無縁の世界です。

現在、ふじ苑では皆様のご協力もあり、平穏な日々を送っています。今後もふじ苑の益々の発展を祈念致します。





令和6年11月より勤務しております、作業療法士の清野と申します。作業療法士は施設内でのリハビリを担当しております。リハビリの訓練内容は、一人一人の身体機能や「自分の足で歩きたい・自分でできる事は自分でしたい」という個人の思いやご家族様の思いも汲み取りながら訓練メニューを考え、提供しております。

また、週1回の体操やレクリエーション活動、週2回の編み物や貼り絵、ネット手芸、ぬり絵など、様々な手芸活動ができるクラブ活動の時間を設けております。

施設に入所した後、自宅と違った環境で戸惑いや不安を感じる方も多いと思います。「病は気から」という言葉があるように、精神面の安定が体の健康に繋がると考えています。私は入所した皆様に安心した生活を送って頂きたいです。不安な気持ちを抱え込まないようコミュニケーションを大事にし、日常の中で楽しみを持って過ごして頂けるよう努めてまいりたいと思います。

作業療法士 清野 遥華



集団給食に初めて携わり、改めて衛生管理のポイントや食事形態の大切さを学ぶことが出来ました。私は前職では飲食業に勤めていましたが、サービス面をメインで行っていました。前職との基本的な衛生管理の違いや、好きなものを自由に食べられる環境と集団給食との違いも多く、最初は慣れるまで時間がかかりました。食材の温度確認や加熱処理してから調理工程に入る等、学ぶことが多く知識を蓄えるごとに楽しさを感じました。

利用者様の健康状態に合わせて食事形態の工夫を施し、安全性の確保を担い、食べる楽しさを守ることによりやりがいを感じています。今後も向上心を忘れず日々精進してまいります。

調理員 神 菜々

介護老人保健施設 ふじ苑



ふじ苑で働き始めて早いもので18年目となり、今年の春までは介護職員として勤務していました。5月中旬のある日、「喜多山君、相談員やってみないか？」と声を掛けていただき、初めは「自分が相談員？自分さ務まるんだべが…」と不安はありましたが、これまで介護職員で培ってきた経験を活かしチャレンジしてみようという思いが強くなり、6月から支援相談員として勤務することになりました。

現場を離れ数ヶ月、日々電話対応をしながら慣れないパソコンと向き合い、時には外部へ足を運び、忙しい毎日を送っています。

まずは、「話を聴く」ということを念頭に置き、入所者様、ご家族様の相談に応じ、安心して施設を利用していただけようサポートしていきます。

至らない点は多々あると思いますが、相談員としての自覚と責任を持って努力しますので、今後もよろしくお願い致します。

支援相談員 喜多山 伸

令和5年4月よりふじ苑にお世話になっています。看護学校卒業後、14年程病院勤務の後、一時他業種に就いていましたが、現在ご縁があって看護職員としてこちらにいます。

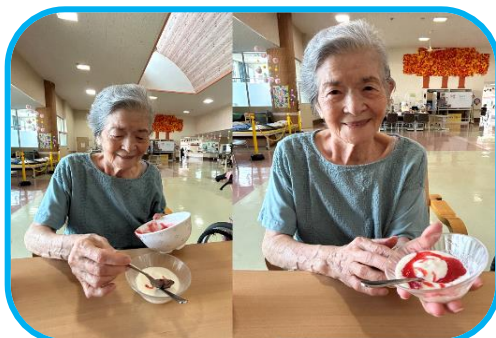
看護部門では、入所者様の日々の健康状態を把握し、異常の早期発見やケアを要する方々へ適切なケアの実施を心掛けています。多職種で連携し、チームワークを高めて業務に当たっていますが、ふじ苑では職種の垣根も無く、和やかにコミュニケーションを図ることが出来る為、看護職員としてのブランクも徐々に埋まり、自信を取り戻せているように思います。

新型コロナウイルスの流行を繰り返していますが、入所者様やご家族様が安心して過ごしていただけるよう、努めて参ります。

准看護師 若松 紗恵子

ほ
こ
ろ
ぶ
笑
顔
祖
母
と
孫

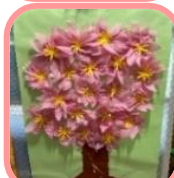




～活動風景～



入所者の作品！



～幾年経とうとも、常緑のごとくすこやかに～



～よく食べて、よく動いて、良く笑って～

通所リハビリテーション ひまわり

昨年春に10年ぶりに帰省し、縁あってここふじ苑に勤務することになりました。通所リハビリテーションの一日は送迎から始まります。

美しい岩木山が毎日見え、りんご畑と田んぼの色づき具合を眺めながら利用者様宅へお迎えにあがります。通所リハビリテーションの活動の中でも、特に温泉入浴とおいしい昼食に好評をいただいております。また、日中活動では様々なレクリエーションや制作活動も取り入れています。

利用者様が笑顔で通所される「ひまわり」をもっと多くの方々に知って頂きたいです。

そして、一人ひとりのお気持ちに添った支援ができるよう、これからも努めて参ります。よろしくお願い致します。

介護福祉士 大矢 雅子



～二人羽織～



バザー



利用者様作
ちぎり絵！



紀寿！



ボウリング



棒サッカー



射的



グループホーム さくらの里

身内話になりますが、さくらの里の現在の入居者様の頭文字を頂戴し、言葉にしてみました。

「あ」さん。 ありがとう！

「さ」さん。 最高！

「お」さん。 穏やか！

「た」さん。 楽しい！

「が」さん。 我慢強い！

「い」さん。 一生懸命！

「お」さん。 思いやり！

気持ちが明るくなるポジティブな魔法の言葉達です。入居者様の日々のお手伝いに対して、職員から入居者様へ、「ありがとうございます。」と一言。

「ありがとう。」の言葉で、入居者様もやる気に満ち溢れて「もっと手伝えることないの？」と、意欲的な言葉が出ています。

認知症になっても一人で出来ることや、やりたいことを、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるように、これからも職員一同思いやりの気持ちを持って支援させていただきます。

管理者 本間 路美子



さくら神社！
ご利益あるヨ！



笑顔満開！
皆の思い出に
また1ページ



たこパ！



居宅介護支援事業センター ひばり

皆さんにとって、通所サービスとか、入所サービスはどういうサービスか、大体想像がつくと思いますが、居宅介護支援ってどういう事をするところなの？と疑問に思う方が多いかと思いますが。

通所サービスや入所サービスは利用者と直接ふれあい、利用者の生活を支えていくサービスですが、居宅介護支援は自宅で生活していく上で必要な介護サービスを結び付けて、利用者が住み慣れた自宅で長く生活出来るように支えていく事を仕事としています。つまり、居宅介護支援とは、介護サービスの縁の下の力持ち的な存在です。

利用者や家族の方で通所サービスを利用したい（利用させたい）、ヘルパーさんに助けてほしい、福祉用具を使いたい、施設入所を考えたい等、介護に関する相談に対応していきますので、気軽にご相談ください。



介護支援専門員 村上 太一



お気軽にご相談下さい

無料体験実施中！！

●介護老人保健施設「ふじ苑」

〒036-8374 弘前市大字土堂字長瀬385-1

☎ 0172-38-5550 FAX 0172-38-5525

●通所リハビリテーション「ひまわり」

〒036-8374 弘前市大字土堂字長瀬385-1

☎ 0172-37-7705 FAX 0172-38-5525

●グループホーム「さくらの里」

〒036-8373 弘前市大字藤代字広田131-1

☎ 0172-39-2122 FAX 0172-39-2123

●居宅介護支援事業センター「ひばり」

〒036-8373 弘前市大字藤代字広田131-1

☎ 0172-39-2020 FAX 0172-39-2012

